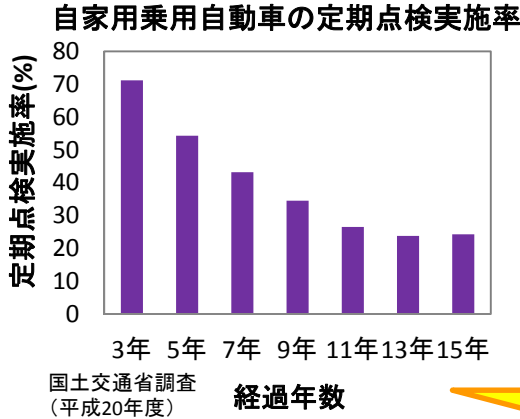


点検整備の促進、新技術に対応した整備技術の検討

概算決定額: 65百万円

○点検整備の促進

定期点検実施率乗用車で約4割程度



整備不良による事故の発生



大型自動車の車輪脱落事故



バスの車両火災事故

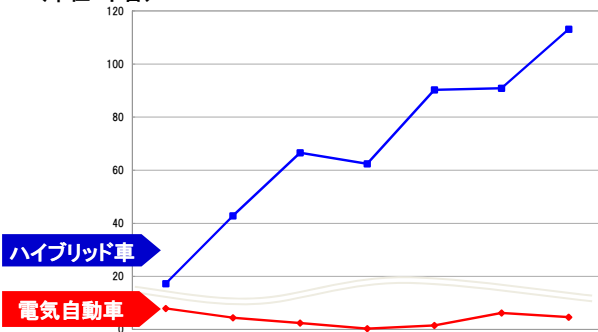
- ユーザーの保守管理意識の高揚
- 点検整備の励行促進

○新技術に対応した整備技術の検討

自動車の新技術の普及

ハイブリッド車・電気自動車 販売台数推移

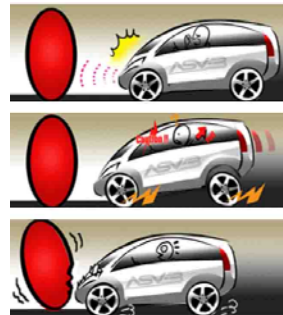
(単位:千台) 《平成14年度～平成20年度》



出典: 次世代自動車振興センター
※電気自動車の内、原動機付き自転車は除く

ASV

前方障害物衝突被害軽減制動制御装置 (被害軽減ブレーキ)



- レーダーで前方障害物を検出し衝突時間を予測
- 衝突の恐れがある場合、運転者に警報
- 更に回避できないと判断したときは、乗員の拘束を強化して、衝突軽減ブレーキを作動
- 衝突のダメージを効果的に軽減

資料: 日本自動車工業会

- これらの新技術に対応した適切な点検整備の実施体制を確保していくためには、汎用スキャンツールの活用を促進していくことが必要

- 汎用スキャンツールの普及検討 等

※スキャンツールとは、自動車の装置の状態を外部接続して診断する「外部診断装置」をいいます。